

地域密着、
身近な話題を
体験取材!

まちかど

特派員だより

心温まる場所 領家グリーンゲイブルズ

6月の終わりごろ、私は領家にある「領家グリーンゲイブルズ」を訪れました。この施設では、視覚をはじめとした障害がある人が作業をしています。その内容は、農作業やマツサージ、コーヒー豆の焙煎など多岐にわたります。ここで焙煎されたコーヒーは「僕らは目で焙煎をする」というキャッチコピーで観光協会推奨土産品になっています。私が訪れた時にまず感じたのは、施設のアットホームな雰囲気です。初めて行く施設だったため不安がありました。が、皆さんが来客者の私に積極的に話しかけてくれました。手を握ってきてくれる人が多く、目が見えないからこそそのコミュニケーションだと感じました。ぎゅっと握られた手

から、本当に私を歓迎してくれる気持ちが伝わり、うれしかったです。コロナ禍で触れ合いの機会が少なくなり、手が、手から伝わる感情を思い出させてくれました。次に、コーヒー豆の焙煎や施設で採れた野菜の袋詰めなどの作業を見学しました。例えば、農作業では種まきから収穫まで数えると約100種類の工程があるそうです。障害者は、人によって得意、不得意が異なり、農作業を1つの仕事と捉えると全てを1人で行うのは難しくなります。しかし、その工程を100種類に分けるとその中に得意な分野が見つけられます。一人一人の得意なことを生かして、チームとして協力し合うことで、農作業という1つの大きな仕事

を完成させることができます。皆さん、自分に任された仕事をとてもうれしそうに行っていました。来年から社会人になる私は、仕事ができるというこの喜びについて考えさせられました。施設長の加藤木貢児さんは「新型コロナウィルスが落ちて、地域に開けた場所に行きたいです。その時は地域の皆さんぜひ遊びに来てください」と話します。施設の職員の皆さんも来客者を温かく迎え入れてくれます。新型コロナウィルスの収束後は、新しい市民のコミュニケーション形成の場所になることでしょう。



上尾地区
小林 美波さん



野菜の袋詰め



コーヒー豆の焙煎



コーヒー豆の焙煎前(左)焙煎後(右)

※感染症対策をした上で取材しています。

市民の情報交流スポット



広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873

アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集「おいでください」と、各団体のサークル会員募集「いきいきサークル」を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



おいでください

- 第17回みのり水彩スケッチ画展 9月9日(金)～16日(金)10:00～16:00(12日(月)は休館。9日は13:00から、16日は15:00まで)、県民活動総合センター 当日 石川☎781-1595 **ひと言!** コロナの中で頑張っていて描いた絵を見に来てください。
- 上尾市民吹奏楽団創立50周年記念演奏会 9月18日(日)13:30～(開場13:00)、文化センター 観1,000円 申文化センター、チケットぴあで販売。北岸☎090-8518-0103 **ひと言!** ポップスステージfeaturingエリックミヤシロ。

いきいきサークル

- 橘ダンス愛好会(社交ダンス) 毎週(出)10:00～12:00、平方公民館 観月額1,000円(入会金1,000円) 申波田野☎080-5460-2089(20:00まで) **ひと言!** 基本から指導。無料体験あり。女性歓迎。見学を。
- 黒百合会あみもの教室 毎月2回(出)13:00～16:30、上平公民館 観月額2,500円(入会金1,000円) 申小川☎782-6672 **ひと言!** 講師が分かりやすく指導します。一緒に楽しみましょう。
- コーラスライン 毎月第1・3(金)10:00～12:00、畔吉集会所 観歌が好きな人

- 観月額2,000円(入会金1,000円) 申佐藤☎774-6127(21:00まで) **ひと言!** 平均年齢を超越した若い声を目指し楽しく歌いましょう。
- リラックスの会(ヨガ) 毎月2回(火)13:00～14:30、原市公民館 観月額2,500円 申松元☎721-9226(18:00まで) **ひと言!** ストレッチで体をほぐし、元気に。見学可。初心者歓迎。
- 粘土ひまわり 毎月第3(水)13:30～16:30、上平公民館 観月額1,500円 申柳田☎776-4337(10:00～16:00) **ひと言!** 粘土で手先を動かし人形、動物、花を作ってみませんか。

定…定員 ☎…対象 費…費用 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み

スポットライト

～人・仲間～



たむら
田村

としこ
敏子さん
(井戸木在住)

SPOT LIGHT
The life of a great person

11月20日(日)の開催が迫っている上尾シティハーフマラソン。ハーフの部に出場し、4大会連続で2時間以内の好タイムでフィニッシュしている66歳の市民ランナー田村敏子さん。「自分なりに、無理をしないでちよつとずつ頑張ることを続けてきただけです」と照れ笑いを浮かべる彼女に、マラソンにかける思いを聞きました。

百貨店に勤務していた田村さんがマラソンに没頭するようになったのは50歳から。健康づくりの一環で、1人でも手軽に始められるジョギングを習慣にしました。週3日ほどのペースで、数カ月走り続けていくうちに、大会に出てみたいという思いが強くなりました。思いきって初めて出場した平成17年の上尾シティハーフマラソンで無事完走したときの充実感は格別でした。「頑張った自分を誇らしく思う気持ちで全身が満たされました」と振り返ります。その後も、自己ベストを塗り替えるたびに得られる達成感に夢中になり、さまざまな地域で行われる大会に出場しました。そして、大会と練習を重ねるうちにフルマラソンにも挑戦し走破できるようになりました。「向上心は最良の宝」。高校時代の恩師からもらった言葉を胸に培ってきた克己心は今も健在です。

上尾シティハーフマラソンの思い出として、女子60歳代の部で自己最高となる4位に輝いた平成26年大会をはじめ、幾

ライバルは常に自分自身

～自己ベストに挑み続ける市民ランナー～

度も上位入賞を果たした喜びはもちろん、苦しい展開のレースも忘れられないそうです。ゴール地点の競技場に差し掛かったところで転倒し、もう走れないと諦めかけましたが、「あともう少し、頑張つて」という沿道からの声援に背中を押されました。やっとの思いでつかみ取った完走も大きな財産となりました。

コロナ禍で各地のマラソン大会の開催中止が相次ぐ難しい状況にも「気分転換を兼ねて遠方で練習したり、昨年からはトレーナーの指導の下、体幹トレーニングに取り組んだりしてコンディショニングを維持してきました。1分1秒でも自己記録を更新したい」と今大会に向けた意気込みを語ります。

健康寿命に大きな関心が寄せられている昨今。自身の健康の秘訣として、「無理せず緩やかに体を動かすこと、常に新しい情報に触れること、適度な日光浴も大切ですが、何よりも、人と一緒に笑いや合う時間を一番大切にしています」と明かしてくれました。

10月の東京レガシーハーフマラソン、11月の上尾シティハーフマラソンへの出場を前にしても「今から楽しみです」と和やかな表情を見せる田村さん。ライバルは常に自分自身。そのすがすがしい走りや沿道に集まった観衆からのエールに応えます。



大会に向けてトレーニングする田村さん



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は8月号です。

⇒広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



市政ニュース Ageo Free Wi-Fi(公衆無線LAN)を設置

- 上尾の公共施設でフリーWi-Fiが使えることは本当にありがたいです。(50代)
- 公共施設でフリーWi-Fiが使えるようになり便利です。また、災害時にも安心です。(30代)

市内18カ所の公共施設で公衆無線LAN(フリーWi-Fi)接続サービスを提供しています。ぜひ、ご利用ください。



スポットライト 原市沼を愛する会

- 原市沼の近くに住んでいますが、一度も行ったことがないので、今度行ってみたいと思います。(40代)
- 原市沼のハスはたくさん咲いており見事です。活動のおかげですね。(60代)

ハスの花は、毎年7～8月が見頃です。来年もきれいに咲くといいですね。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。